

## 令和7年度 指導の方針と重点

	重 点
学校経営	<p>◎新しい学校の開校の年度、全ての職員が新鮮な気持ちで、自分たちが新しい学校を創っていくという気概をもち、既存の概念や価値観にとらわれず子どもたちの様々な可能性を引き出すための創意工夫と温かさに満ちあふれる学校を目指す。</p> <p>(1) 互いに自分を開く ～自分の思いを語り、相手の話に耳を傾ける～            (2) 子どもたちに開く ～「一緒にいることが楽しい、嬉しい」を表す、伝える～            (3) 地域に開く ～地域の方に「親しみ」を感じてもらえる～</p>
研 修	<p>◎専門性にに基づいた指導力を身に付けるための研修を組織的・計画的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を明確にして、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける。</li> <li>・学校の課題や自己の課題を明確にし、課題解決のために継続した研修を行う。</li> </ul>
教科指導	<p>◎生きて働く知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力と学びを人生や社会に生かそうとする力の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の障がいや学習の状況を踏まえて、個に応じた指導のねらいと評価の観点を明確にし、きめ細かな指導を充実する。</li> <li>・児童生徒の自主的・自発的な学習を促すよう体験的な活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力が育つよう、指導内容や指導方法、評価、教材・教具を工夫改善する。</li> </ul>
道徳教育	<p>◎強く明るく生きようとする意欲と温かい人間関係を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を見つめる力や基本的な生活習慣、社会生活のルールを身に付け、強く明るく生きようとする意欲と態度を育てる。</li> <li>・家庭や地域社会と連携して経験の拡充を図り、道徳的判断や行動ができるように指導するとともに、他者を思いやり、励まし合う温かい人間関係を醸成する。</li> </ul>
外国語活動 (小学部)	<p>◎外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語や外国の文化に触れることを通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違い等に気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。</li> </ul>
総合的な学習・探究の時間	<p>◎自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく力の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動や横断的、総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えることができる活動内容を計画する。</li> <li>・児童生徒の自主的・主体的な学習活動を大切に、知的欲求や探究心の満足するよう計画を立案、実施する。</li> </ul>
特別活動	<p>◎望ましい集団生活を通して、よりよい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流教育、奉仕活動に積極的に取り組み、地域の人々との結び付きを深め、社会性や豊かな人間性を育てる。</li> <li>・集団や社会の一員としての自覚を深め、自己肯定感や成就感を体得する指導の充実を図る。</li> </ul>

自立活動	<p>◎障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し、自立を目指す指導を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の実態を的確に把握し、生徒や保護者のニーズを踏まえるとともに、校内の支援体制を整え、関係機関と連携して個別の指導計画を作成し、その活用を図る。</li> <li>・障がいによる種々の困難を主体的に改善・克服しようとする意欲を高めることができるよう、指導内容や指導方法を工夫する。</li> </ul>
生徒指導	<p>◎信頼と愛情を基盤とした児童生徒理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が安心して充実した学校生活を送れるよう、児童生徒理解を深め、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努め、関係機関との連携を図りながら、継続的な指導を行う。</li> <li>・主体的に判断し、自らの行動に責任をもち、自他の生命を尊重し、倫理観や規範意識を体得できるように、継続的な指導を行う。</li> </ul>
キャリア教育	<p>◎児童生徒一人一人に応じた自立と社会参加に向け、主体的に進路選択や進路決定ができるように、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路に関するガイダンス機能を充実させ、ニーズに応じた情報発信を行う。</li> <li>・地域の福祉や労働等の関係機関と連携し、組織的、計画的な進路支援を行う。</li> </ul>
健康教育	<p>◎健康で安全な生活を営む能力や態度の育成に向けて、全体の指導及び一人一人の能力や特性を踏まえ、「保健」「食」「運動」について個に応じた指導の一層の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な衛生習慣を育むために、健康状況の把握や衛生管理の徹底に努め、児童生徒の実態に応じた衛生習慣に関する指導を行う。</li> <li>・医療的ケア対象児童生徒が安心して適切なケアが受けられるよう、児童生徒の実態把握に努め、看護師と連携を図り、健康状態や医療的ケア内容についての理解を深める。</li> <li>・栄養教諭と連携した食育指導を行う。</li> <li>・児童生徒が健康で安全な生活を送れるように、実態に応じた安全な運動活動への支援を行う。</li> </ul>